

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2015年6月12日から2025年9月12日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス) 日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回（原則として毎年9月12日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

# アジア好利回り リート・ファンド (年1回決算型)

【運用報告書(全体版)】

(2020年9月15日から2021年9月13日まで)

第 7 期

決算日 2021年9月13日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
3期(2017年9月12日)	10,847	0	13.8	0.0	95.8	2,224
4期(2018年9月12日)	11,240	0	3.6	0.0	98.7	2,846
5期(2019年9月12日)	12,733	0	13.3	0.0	97.7	3,969
6期(2020年9月14日)	12,282	0	△ 3.5	0.0	98.0	4,855
7期(2021年9月13日)	14,093	0	14.7	0.0	98.0	4,816

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		
(期首) 2020年9月14日	円 12,282	% —	% 0.0	% 98.0
9月末	12,252	△ 0.2	0.0	94.1
10月末	11,731	△ 4.5	0.0	97.8
11月末	12,721	3.6	0.0	98.6
12月末	13,094	6.6	0.0	95.6
2021年1月末	12,998	5.8	0.0	98.4
2月末	13,214	7.6	0.0	99.0
3月末	13,545	10.3	0.0	93.6
4月末	13,814	12.5	0.0	98.2
5月末	13,762	12.1	0.0	97.6
6月末	14,068	14.5	0.0	93.5
7月末	13,945	13.5	0.0	97.9
8月末	14,095	14.8	0.0	98.3
(期末) 2021年9月13日	14,093	14.7	0.0	98.0

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	12,282円
期末	14,093円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+14.7% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資しました。

なお、外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行っていません。

#### 上昇要因

- 新型コロナウイルス収束後の景気回復を見据えて投資家心理が改善し、アジア・オセアニアリート市場が上昇したこと
- 2020年11月から2021年3月にかけて、オーストラリアドルやシンガポールドル、香港ドルが対円で上昇したこと

#### 下落要因

- 2020年10月に、欧米での新型コロナウイルス感染再拡大や、投資家心理の悪化を受けアジア・オセアニアリート市場が下落したこと

投資環境について（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

アジア・オセアニアリート市場は、シンガポール、香港、オーストラリアのすべての市場が上昇しました。為替市場では、香港ドル、オーストラリアドル、シンガポールドルすべてが対円で上昇しました。

---

### アジア・オセアニアリート市場

アジア・オセアニアリート市場は、期初から10月にかけては、欧米での感染再拡大などを受けた投資家心理の悪化などを背景に軟調に推移しました。11月は、米国大統領選挙を終えた不透明感の後退、ワクチン開発の進展による経済正常化への期待等から、投資家心理は改善し、上昇しました。12月から期末にかけては、感染拡大状況や経済活動の再開状況、金利動向を受けて国ごとにまちまちな推移となりました。

香港リートは、中長期的な景気回復期待を背景に2021年6月ごろまでは上昇しました。その後期末にかけては、中国における景気減速懸念や中国当局が不動産を含む幅広い業種への規制強化の姿勢を鮮明にしたことなどが波及して投資家心理が悪化し、下落しました。

シンガポールリートは、内需主導での景気回復が進み、4月まで上昇しました。その後は、期末にかけては、市中感染が複数確認されたことを受けて感染抑制のための規制が強化され、景気回復期待が一時後退したことが上値を抑えました

オーストラリアリートは、年明け以降も政

府のサポートにより国内景気は急激な回復を示し、力強く推移しました。住宅価格が大幅な伸びを記録したほか、GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回るなど、景気回復期待が継続しました。

---

### 為替市場

アジア・オセアニア通貨は、期初は長期金利上昇や景気先行き期待を背景に、対円で上昇しました。その後は一進一退で推移し、世界的にデルタ型ウイルスの感染拡大が広まると、リスク回避姿勢が強まり、期末にかけて円高基調で推移しました。

ポートフォリオについて（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

## 当ファンド

「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)」の高位組入れを維持しました。

## SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)

市場動向を注視しながら、個別銘柄の流動性に配慮して慎重に売買を進め、組入比率は高位を保ちました。期末の組入銘柄数は39銘柄で、銘柄分散効果でパフォーマンスの安定を図りつつ、個別銘柄を総合的に勘案したウェイト付けで、比較的高いパフォーマンスの享受を狙いました。

香港では、2月末に国・地域に対する見方を引き上げ、銘柄分散を図りながら、小型銘

柄を中心に新規組入れを行いました。一方、香港情勢の混乱時に国・銘柄分散を目的として組入れを開始していたニュージーランドリートを全売却しました。シンガポールでは、成長期待の高いインダストリアルリートや経済正常化の恩恵を受ける商業施設リートの保有を継続しました。オーストラリアでは、住宅支援策が好感されるとみて住宅リートを買増しましたが、期中大幅に上昇したことから、期末に一部利益確定売却しました。

マクロ経済や金融政策の動向、個別リートの中期的な成長性に基づき、国・地域分散の観点からも引き続きマレーシア、タイ、インドへの投資を行いました。

※業種はS & P R E I T 指数に基づく分類です。

## マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第7期
当期分配金	—
（対基準価額比率）	（—％）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,826

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト（JPY Unhedged クラス）」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。引き続き「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト（JPY Unhedged クラス）」の高位組入れを維持します。

### SMAM アジア・リート・サブ・トラスト（JPY Unhedged クラス）

ワクチン接種が世界中に浸透するなかで、各国の景気見通しが改善して経済が正常化に進むことは、不動産市況全般に恩恵があると

考えます。また、国ごとの経済正常化の度合いや金利動向に応じて焦点が移り変わる展開を想定します。ファンドの基本コンセプトである、「収益の成長性に加え、配当利回りなどのバリュエーション（価格評価）に着目した運用」を行ってまいります。また、外部環境にも留意しながら、引き続き個別銘柄選択を重視し、ファンドを特徴づける魅力的な銘柄群に投資する方針です。また、我々はアジア・オセアニアリートにおいてESGリサーチを行っていますが、コロナ禍を経てESGの重要性がさらに高まっています。ESGリサーチを活用したリートとの対話を通じて、ファンドのパフォーマンスの向上、リート市場のサステナビリティ向上を図っていく所存です。

---

## マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

### 1万口当たりの費用明細（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	150円	1.130%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) <b>期中の平均基準価額は13,269円です。</b>
（投信会社）	(36)	(0.274)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(109)	(0.823)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	18	0.136	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(18)	(0.136)	
（先物・オプション）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.008	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>169</b>	<b>1.274</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

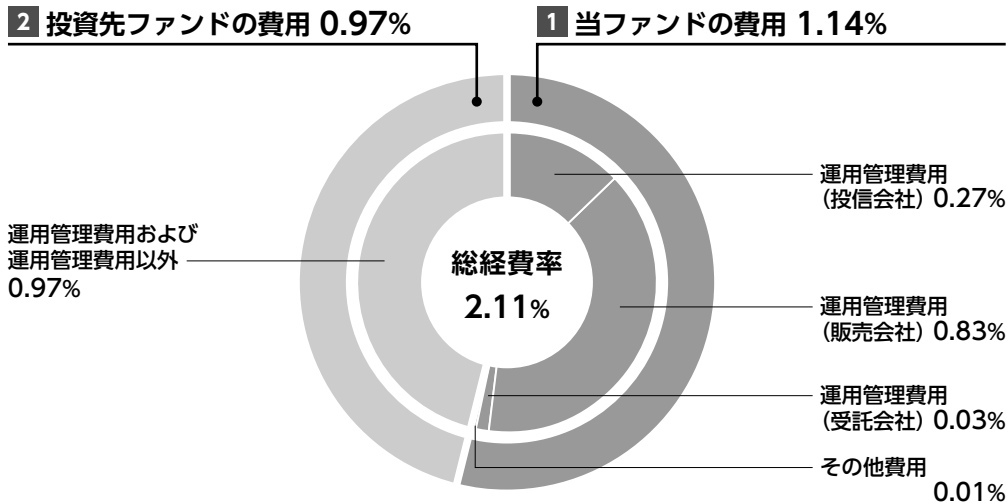
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (1 + 2)

2.11%

1 当ファンドの費用の比率

1.14%

2 投資先ファンドの費用の比率

0.97%

※ 1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.11%です。

## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

#### 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	□ 779,437,765 (248,338,549)	千円 1,386,500 (436,953)	□ 1,206,505,891	千円 2,110,150
合 計		779,437,765 (248,338,549)	1,386,500 (436,953)	1,206,505,891	2,110,150

※金額は受渡し代金。

※( )内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2020年9月15日から2021年9月13日まで）

#### 利害関係人との取引状況

#### アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

#### マネー・マーケット・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 58	百万円 15	% 25.9	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当該ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2020年9月15日から2021年9月13日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

### ■ 組入れ資産の明細 (2021年9月13日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	2,843,537,874	2,664,808,297	4,718,576	98.0
合 計	2,843,537,874	2,664,808,297	4,718,576	98.0

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	0	0	0.996

※マネー・マーケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は76,752千口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2021年9月13日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	4,718,576	96.6
マネー・マーケット・マザーファンド	0.996	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	168,464	3.4
投 資 信 託 財 産 総 額	4,887,040	100.0

## アジア好回りリート・ファンド（年1回決算型）

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年9月13日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>4,887,040,525円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	134,864,578
投資信託受益証券(評価額)	4,718,576,051
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	996
未 収 入 金	33,598,900
<b>(B) 負 債</b>	<b>70,587,021</b>
未 払 解 約 金	43,693,138
未 払 信 託 報 酬	26,708,613
未 払 利 息	380
そ の 他 未 払 費 用	184,890
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>4,816,453,504</b>
元 本	3,417,686,429
次 期 繰 越 損 益 金	1,398,767,075
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,417,686,429口</b>
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	<b>14,093円</b>

※当期における期首元本額3,953,478,813円、期中追加設定元本額1,290,883,862円、期中一部解約元本額1,826,676,246円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	- 円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

### ■ 損益の状況

(自2020年9月15日 至2021年9月13日)

項 目	当 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>379,829,726円</b>
受 取 配 当 金	379,949,882
支 払 利 息	△ 120,156
<b>(B) 有 価 証 券 売 買 損 益</b>	<b>158,074,645</b>
売 買 益	379,801,720
売 買 損	△ 221,727,075
<b>(C) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 53,262,237</b>
<b>(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)</b>	<b>484,642,134</b>
<b>(E) 前 期 繰 越 損 益 金</b>	<b>64,568,604</b>
<b>(F) 追 加 信 託 差 損 益 金</b>	<b>849,556,337</b>
( 配 当 等 相 当 額 )	( 1,373,808,429)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 524,252,092)
<b>(G) 計 (D+E+F)</b>	<b>1,398,767,075</b>
<b>(H) 収 益 分 配 金</b>	<b>0</b>
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	1,398,767,075
追 加 信 託 差 損 益 金	849,556,337
( 配 当 等 相 当 額 )	( 1,373,808,429)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 524,252,092)
分 配 準 備 積 立 金	617,372,264
繰 越 損 益 金	△ 68,161,526

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(342,221,260円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(1,373,808,429円)および分配準備積立金(275,151,004円)より分配可能額は1,991,180,693円(1万口当たり5,826円)ですが、分配は行っておりません。

## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト（JPY Unhedged クラス）								
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）								
主要投資対象	日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託								
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>※オセアニア地域の取引所に上場している不動産投資信託にも投資を行います。</li> <li>・収益の成長性に加え、配当利回り等のバリュエーションに着目した運用を行います。</li> <li>・原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>								
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の空売りは純資産総額の範囲内で行います。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> </ul>								
決算日	毎年2月の最終営業日								
分配方針	毎月28日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針です。								
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <table> <tr> <td>運用報酬</td> <td>年0.55%程度</td> </tr> <tr> <td>受託会社報酬</td> <td>年0.01%程度</td> </tr> <tr> <td>管理費用</td> <td>年0.09%程度</td> </tr> <tr> <td>保管費用</td> <td>年0.05%程度</td> </tr> </table> <p>※上記の各料率には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の各料率を上回ることがあります。</p>	運用報酬	年0.55%程度	受託会社報酬	年0.01%程度	管理費用	年0.09%程度	保管費用	年0.05%程度
運用報酬	年0.55%程度								
受託会社報酬	年0.01%程度								
管理費用	年0.09%程度								
保管費用	年0.05%程度								
その他の費用	<p>ファンドの取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>								
申込手数料	ありません。								
信託財産留保額	解約時に0.3%								
投資運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社								
投資助言会社	スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（シンガポール）ピーティーイー・リミテッド								
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。								

以下には、「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト（JPY Unhedged クラス）」をシェアクラスとして含む「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

### ■ 包括利益計算書(2020年2月29日から2021年2月26日まで)

(単位：円)

#### 利益

受取利息、配当収入、純実現利益および損益を通じて公正価値で測定する 金融資産・負債ならびに外国通貨取引にかかる未実現評価益の純変動	7,008,740,743
--	---------------

#### 費用

投資運用報酬	682,718,176
取引費用	277,192,483
管理事務代行報酬	99,304,461
保管報酬	73,490,283
受託報酬	12,413,058
名義書換代行報酬	12,413,058
支払利息	9,278,761
専門家報酬	5,111,575
登録手数料	105,389
費用合計	1,172,027,244

#### 営業利益

5,836,713,499

#### 税引前利益

5,836,713,499

#### 源泉徴収税

(368,381,930)

#### 営業による償還可能受益証券保有者に帰属する純資産の増加

5,468,331,569

## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

### ■ 投資明細表(2021年2月26日現在)

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	普通株式 (96.4%)		
	オーストラリア (33.4%)		
	不動産投資信託 (33.4%)		
4,500,000	Charter Hall Group	3.6	4,402,131,351
10,004,595	Charter Hall Long Wale REIT Class REIT	3.1	3,812,477,437
7,901,389	Charter Hall Social Infrastructure REIT	1.6	1,955,196,865
635,991	Dexus	0.4	466,881,613
7,257,332	Goodman Group	8.2	9,912,954,611
1,050,000	GPT Group	0.3	369,813,676
20,217,896	Mirvac Group Class REIT	3.1	3,718,832,480
13,494,589	Rural Funds Group	2.2	2,604,601,662
20,370,503	Scentre Group	4.0	4,839,049,168
3,000,000	Shopping Centres Australasia Property Group Class Miscella	0.5	579,032,454
18,032,598	Stockland	5.1	6,202,405,415
11,900,000	Vicinity Centres	1.3	1,609,743,216
			<u>40,473,119,948</u>
	オーストラリア合計		<u>40,473,119,948</u>
	香港 (9.8%)		
	不動産投資信託 (9.8%)		
11,533,500	Link REIT	9.6	11,595,019,649
5,480,000	Sunlight Real Estate Investment Trust	0.2	297,287,701
			<u>11,892,307,350</u>
	香港合計		<u>11,892,307,350</u>
	インド (0.8%)		



## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	不動産投資信託 (0.8%)		
2,132,000	Embassy Office Parks REIT	0.8	989,124,939
	インド合計		<u>989,124,939</u>
	マレーシア (0.5%)		
	不動産投資信託 (0.5%)		
15,893,400	Sunway Real Estate Investment Trust Class REIT	0.5	631,712,587
	マレーシア合計		<u>631,712,587</u>
	ニュージーランド (2.3%)		
	不動産投資信託 (2.3%)		
16,433,527	Goodman Property Trust	2.3	2,800,658,977
	ニュージーランド合計		<u>2,800,658,977</u>
	シンガポール (48.5%)		
	不動産投資信託 (48.5%)		
22,733,700	Ascendas India Trust	2.2	2,732,249,617
21,274,270	Ascendas Real Estate Investment Trust	4.1	5,011,422,138
9,300,000	Ascott Residence Trust	0.6	737,695,498
46,695,811	CapitaLand China Trust	4.2	5,050,922,222
43,297,209	CapitaLand Integrated Commercial Trust	6.0	7,285,144,775
9,200,000	CDL Hospitality Trusts Class Miscella	0.7	884,561,562
26,234,108	Frasers Centrepoint Trust Class REIT	4.4	5,296,949,505
24,111,100	Frasers Logistics & Commercial Trust Class REIT	2.2	2,665,969,034
29,586,538	Keppel DC REIT Class REIT	5.3	6,471,661,407
20,900,000	Lendlease Global Commercial REIT	1.1	1,289,424,748
24,267,433	Mapletree Commercial Trust	3.3	3,966,550,580
33,335,300	Mapletree Industrial Trust	5.9	7,104,687,734

## アジア好利回りリート・ファンド（年1回決算型）

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
53,740,415	Mapletree Logistics Trust	6.6	7,965,842,847
4,697,500	Parkway Life Real Estate Investment Trust	1.3	1,546,919,096
10,150,000	Sasseur Real Estate Investment Trust	0.6	683,131,511
			58,693,132,274
	シンガポール合計		58,693,132,274
	タイ (1.1%)		
	不動産投資信託 (1.1%)		
19,300,000	Fraser's Property Thailand Industrial Freehold & Leasehold REIT	0.6	709,630,243
9,896,000	IMPACT Growth Real Estate Investment Trust	0.5	598,270,054
			1,307,900,297
	タイ合計		1,307,900,297
	普通株式合計（取得原価：104,098,871,224円）		116,787,956,372
		純資産比率	公正価値
	損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債合計	(%)	(単位：円)
	普通株式合計	96.4	116,787,956,372
	負債を超過する現金およびその他の資産	3.6	4,411,454,042
	純資産	100.0	121,199,410,414

# マネー・マーケット・マザーファンド

第10期 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率 %		
6期 (2017年3月1日)	10,033	△0.1	66.0	137
7期 (2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89
9期 (2020年3月2日)	10,013	△0.1	80.6	77
10期 (2021年3月1日)	10,002	△0.1	75.9	76

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

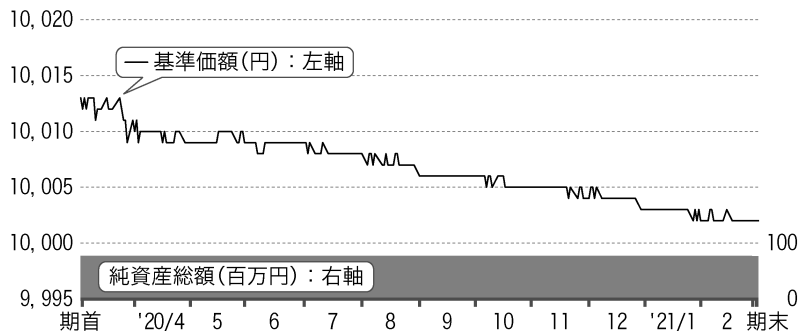
年月日	基準価額		債券組入率比
	円	騰落率 %	
(期首) 2020年3月2日	10,013	-	80.6
3月末	10,010	△0.0	77.0
4月末	10,009	△0.0	76.9
5月末	10,009	△0.0	74.4
6月末	10,009	△0.0	74.4
7月末	10,008	△0.0	74.3
8月末	10,006	△0.1	75.7
9月末	10,006	△0.1	75.7
10月末	10,005	△0.1	75.6
11月末	10,004	△0.1	75.5
12月末	10,003	△0.1	75.7
2021年1月末	10,002	△0.1	75.6
2月末	10,002	△0.1	75.9
(期末) 2021年3月1日	10,002	△0.1	75.9

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	10,013円
期末	10,002円
騰落率	-0.1%

### ▶ 基準価額の変動要因 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

### ▶ 投資環境について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期の短期金利は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことや、物価上昇率の伸びが下落に転じたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、リス

ク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まりを背景に3月下旬に利回りは一時-0.4%台まで低下しました。その後、過度な国債需給の引き締めりに対し、日銀が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転じました。また、政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりました。しかし、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服し、その後は-0.10%を挟んで概ねレンジ内での推移となりました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.199%に対し、期末は-0.110%へ上昇しました。

---

### ▶ ポートフォリオについて (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

---

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

---

### ▶ ベンチマークとの差異について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## ② 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続される見込みです。短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.007% (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.007	

期中の平均基準価額は10,006円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 58,705	千円 — (62,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	58,000 (58,000)	58,278 (58,278)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)
合 計	58,000 (58,000)	58,278 (58,278)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	第133回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	14,000	14,030	2021/4/30
	第135回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	15,000	15,041	2021/5/31
	第142回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	15,000	15,076	2021/8/31
	第152回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	14,000	14,129	2021/12/28
	合 計	—	58,000	58,278	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	58,278	75.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	18,881	24.5
投 資 信 託 財 産 総 額	77,159	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	77,159,018円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,809,548
公 社 債 ( 評 価 額 )	58,278,230
未 収 利 息	71,240
(B) 負 債	389,247
未 払 解 約 金	389,196
未 払 利 息	51
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	76,769,771
元 本	76,752,334
次 期 繰 越 損 益 金	17,437
(D) 受 益 権 総 口 数	76,752,334口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	10,002円

※当期における期首元本額77,141,454円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額389,120円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

インド内需関連株式ファンド	119,759円
高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジなし)	419,066円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2020年3月3日 至2021年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	641,537円
受 取 利 息	656,090
支 払 利 息	△ 14,553
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△716,530
売	△716,530
買	
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,051
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 80,044
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	97,557
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 76
(G) 計 ( D + E + F )	17,437
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	17,437

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。